

都城工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	英語
科目基礎情報						
科目番号		0066		科目区分	一般 / 選択	
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科		電気情報工学科		対象学年	4	
開設期		通年		週時間数	2	
教科書/教材		ESPIにもとづく工業技術英語（講談社） 978-4-06-155784-0				
担当教員		笹谷 浩一郎				
到達目標						
1) 工業技術に関する基本的な英語表現に慣れる。 2) テキストで与えられた課題に的確にこたえられるようになる。						
ループリック						
	理想的な到達レベルの目安 A	標準的な到達レベルの目安 B	未到達レベルの目安 C	(学生記入欄) 到達したレベルに○をすること。		
評価項目1	予習・復習に加え、自分なりの目標も決めて、英語学習を着実に進める習慣が身に付いている。	予習・復習を中心に、しっかりとした英語の学習習慣が身に付いている。	予習・復習に多少は取り組むことができる。	A ・ B ・ C		
評価項目2	テキストで学んだ語彙・表現を理解し、実際にそれらを使うことができる。	テキストで学んだ語彙・表現をほぼ理解できる。	テキストで学んだ文法・表現方法を多少は理解できる。	A ・ B ・ C		
評価項目3	Your Assignmentの課題を80%以上正解できる。	Your Assignmentの課題を60~80%程度正解できる	Your Assignmentの課題を50%程度正解できる。	A ・ B ・ C		
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 C JABEE a JABEE f						
教育方法等						
概要	1) 工業技術に関する様々な演習を行う。 2) グループワーク、ペアワーク等の活動を取り入れる。					
授業の進め方・方法	1) 毎回、指示された予習・課題にしっかり取り組むこと。 2) 授業中に学んだ表現を復習し、自分で声に出して練習すること。					
注意点	1週間に1度の授業なので、英語力向上のためには授業時間外の学習が求められる。					
ポートフォリオ						
(学生記入欄) 【理解の度合】理解の度合について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生についてはほぼ理解できたが、渦電流についてはあまり理解できなかった。 ・前期中間試験まで： ・前期末試験まで： ・後期中間試験まで： ・学年末試験まで： 【試験の結果】定期試験の点数を記入し、試験全体の総評をしてください。 (記入例) ファラデーの法則に関する基礎問題はできたが、応用問題が解けず、理解不足だった。 ・前期中間試験 点数： 総評： ・前期末試験 点数： 総評： ・後期中間試験 点数： 総評： ・学年末試験 点数： 総評： 【総合到達度】「到達目標」どおりに達成することができたかどうか、記入してください。 ・総合評価の点数： 総評： ----- (教員記入欄) 【授業計画の説明】実施状況を記入してください。 【授業の実施状況】実施状況を記入してください。 ・前期中間試験まで： ・前期末試験まで： ・後期中間試験まで： ・学年末試験まで： 【評価の実施状況】総合評価を出した後に記入してください。						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画				
		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	授業計画の説明 Unit 1	授業計画・達成目標・成績の評価方法等の説明 技術文書における数字関連のルールを理解する。
		2週	Unit 1	Eメールの形式を理解する。
		3週	Unit 2	新製品広告の語彙の特徴を理解する。
		4週	Unit 2	新製品広告の構文の特徴を理解する。
		5週	Unit 3	カタログの見方を理解する。
		6週	Unit 3	注文書の形式と書き方を理解する。
		7週	Unit 4	さまざまな単位記号を理解する。
		8週	Unit 4	仕様書の読み取り方を理解する。
	2ndQ	9週	前期中間試験	
		10週	試験答案の返却・解説 Unit 5	操作マニュアルにおける命令形を理解する。
		11週	Unit 5	Do-it-yourself の考え方を理解する。
		12週	Unit 6	丁寧文、敬語表現を理解する。
		13週	Unit 6	求人広告に含まれる情報を理解する。
		14週	Unit 7	ビジネスレターの形式を理解する。
		15週	Unit 7	ビジネスレターの段落構成を理解する。
		16週	前期末試験	
後期	3rdQ	1週	試験答案の返却・解説 Unit 8	可能性に関連した語法を理解する。
		2週	Unit 8	オンライン科学雑誌の購読申し込み方法を理解する。
		3週	Unit 9	プレゼンテーション用スライドの構成を理解する。
		4週	Unit 9	口頭発表のポイントを理解する。
		5週	Unit 10	解説書、ホームページなどに表れる説明情報を理解する。
		6週	Unit 10	定義文のルールとパターンを理解する。
		7週	Unit 11	実験報告書に関連した動詞の自製の用い方を理解する。
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	試験答案の返却・解説 Unit 11	実験報告書に関連した受動態の用い方を理解する。
		10週	Unit 12	図表の使用ルールを理解する。
		11週	Unit 12	結果および考察・結論での頻出表現を理解する。
		12週	Unit 13	アブストラクトの形式を理解する。
		13週	Unit 13	論文の要点のまとめ方を理解する。
		14週	unit 14	特許明細書に関連した語法を理解する。
		15週	Unit 14	特許明細書のアブストラクトの読み方を理解する。
		16週	学年末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	

評価割合			
	定期試験	小テスト、発表	合計
総合評価割合	80	20	100
知識の基本的な理解	50	20	70
思考・推論・創造への適応力	30	0	30
汎用的技能	0	0	0
態度・志向性（人間力）	0	0	0
総合的な学習経験と創造的思考力	0	0	0